

# 議会だより

8号



議会は今年も  
ヤリマシトー!!

新庄 ヤリマシト (弓打ち講)

● 新年のご挨拶	2	● 一般質問	6
● 12月定例会	3	● 各種委員会報告	10
● 常任委員会の動き	4	● 編集後記	12

# 新年のご挨拶

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新春をご家族おそろいで迎えられたことを心からお慶び申し上げます。旧年中



は、町議会に對しまして温かいご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年3月11日の東日本大震災に端を発した福島第一原子力発電所事故、今その一刻も早い収束と検証が求められています。しかし、資源の乏しい我が国において国民生活や経済産業活動等国の持続的な発展を考える上でエネルギーは欠くことのできない重要な問題であり、原子力に代わるエネルギーが乏しい現状では、原子力行政を今後も推進していくことが長年国のエネルギー政策に貢献してきた美浜町の進むべき道と考えております。そのためにも二度と福島のような原子力災害を起こさずにはならないという強い決意で、行政と連携し国及び関係機関に発電所の安全対策について働きを強めて来た一年でありました。

いま、美浜町議会では町民の皆様の声を大切に「開かれた議会、行動する議会」を目指し議会改革に取り組んでおります。昨年も議会の運営、議員の活動、政策の提言、議員間の討論、町民と議会との関係、議員の政治倫理等について何度も話し合い、出来るものから即実行という意気込みで進めてまいりました。3月議会からは一般質問に二問一答方式を取り入れる予定です。今後も改革の歩みを止めず、町民の皆さまとの対話や各種団体等との対話を増やし、わかりやすい議会を目指すとともに「見る」「聞く」を大切に議会として現場の声を行政に提案してまいりたいと思います。

町民の意思決定機関として、誰もが住みたくなくなる町、そして夢と希望のある安全安心な町づくりのために、誠心誠意努力してまいる所存であります。今後とも町民の皆様のご指導、ご支援賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

議長 北村 晋

## 町議会は8委員会のもとに活動しています。

みなさまの身近にいる議員をもっと使ってね!!

**宮下紀興**です  
**北村晋**です  
**倉田愛子**です  
**崎元良栄**です  
**山口和治**です  
**浜野健治**です  
**兵庫賢一**です  
**樋下伸嗣**です  
**藤本悟**です  
**辻健一郎**です  
**松坂隆司**です  
**飯田豊**です  
**前田義久**です  
**竹仲良廣**です  
**中村清一**です

**総務文教常任委員会**  
財政、税、教育、広報に関する事項及び他の常任委員会の所管に属さない事項で、付託された案件の調査及び審査をします。

**議会運営委員会**  
会期の決定や議事日程など、議会の運営に関することを協議します。

**産業厚生常任委員会**  
産業や医療、福祉、上下水道、健康づくりに関する事項で、付託された案件の調査及び審査をします。

**議会活性化特別委員会**  
真に町民の負託に応える議会をめざし議会の活性化策の調査研究を行います。

**議会広報特別委員会**  
議会広報誌の作成及び議会広報活動に関する調査・研究を行います。

**美浜中学校建設特別委員会**  
美浜中学校施設整備、その他学校教育の充実に関する諸施策の調査研究を行います。

**原子力発電所特別委員会**  
原子力発電所の安全性の確保、その他原子力に関する諸施策の調査研究を行います。

**有害鳥獣対策特別委員会**  
鳥獣による深刻な被害の防止対策及び諸課題の解消のための調査研究を行います。

その他、美浜・三方環境衛生組合議会、敦賀美方消防組合議会、嶺南広域行政組合議会、公立小浜病院組合議会にも議員を派遣しています。

# 12月定例会(12月13日~12月22日)

12月定例会は、12月13日より12月22日まで10日間の会期で開かれました。一般会計補正予算など10議案各常任委員会で審議の上、いずれも原案どおり各議案全員賛成で可決しました。委員会発委による原子力発電所の警備に関する意見書を上程し、原案可決しました。20日には、建設中の「せせらぎ保育園」の現地視察を行いました。

## 予算案件

### ●平成23年度一般会計補正予算(第4号)

補正予算額1億1,827万円  
総額87億9,334万円とするものです。

### ●平成23年度診療所事業特別会計(第1号)

総務費109万円減額 医業費536万円追加し、歳入歳出それぞれ1億8,454万円とするものです。

### ●平成23年度国民健康保険事業特別会計(第2号)

保険給付費、後期高齢者支学金等、1億4,915万円を追加し歳入歳出それぞれ14億5,809万円とするものです。

### ●平成23年度介護保険事業特別会計(第2号)

介護保険事業勘定22万円減額、介護サービス勘定346万円を追加し歳入歳出それぞれ10億2,672万円とするものです。

### ●平成23年度簡易水道事業特別会計(第1号)

簡易水道事業費288万円を追加し歳入歳出それぞれ5,095万円とするものです。

### ●平成23年度公共下水道事業特別会計(第1号)

公共下水道事業費181万円追加し

歳入歳出それぞれ5億1,241万円とするものです。

### ●平成23年度上水道事業会計(第1号)

上水道事業費用を1億3,143万円とし、うち営業費用を1億1,496万円とするものです。

## 条例条件

●美浜町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正

人事院勧告等の内容を踏まえ、一般職の職員の給与等を改正するものです。

### ●美浜町健康診査推進強化基金条例の制定

健康診査の受診機会の向上に寄与することができる事業に充てる必要な資金を積み立てるものです。

平成24~28年度までの事業で、積立金5,000万円

## その他案件

### ●公立小浜病院組合規約の変更

会計事業及び決算事務の効率化を図るため、公立小浜病院組合規約を変更するものです。

## 陳情・意見書提出要請

●「緊急事態基本法」早期制定を求める意見書採択を求める陳情

●原子力発電所の警備に関する意見書

## 平成23年度 一般会計12月補正予算概要

予算規模	補正 予算額	118,267千円	補正後 予算総額	8,793,339千円
(参考) 前年同期	補正 予算額	540,419千円	補正後 予算総額	8,048,165千円

◎ 歳出予算の内訳(主要事項)

(単位:千円)

款	補正額	主要事項	金額	参考
議会費	3,439	音響システム改修工事	3,100	議場の録音装置更新と全員協議会室の会議システム更新を行う。
総務費	16,224	原子力電光掲示板更新工事	7,386	庁舎前に設置してある電光掲示板を更新する。
民生費	14,374	身体障がい者更正医療給付事業	1,202	腎移植者医療費の追加、心臓医療費対象者の増加等により追加給付を行う。
		生活介護事業	3,955	対象者の授産施設への通所日数増加等に伴い、負担金等を増額する。
		補装具給付事業	1,490	給付希望者の増加に伴い、給付費を増額する。
		子ども医療費助成事業	3,000	中学校修了までの子ども医療費の増嵩が見込まれるため、医療費を増額する。
衛生費	59,704	子ども手当システム改修委託	1,680	特措法の施行に伴い、受給者台帳等に係る電算システムを改修する。
		健康診査推進強化基金積立金	50,000	健康診査受診率の向上等に資するため、基金を積み立てる。
農林水産費	26,617	有害鳥獣対策事業	14,694	・有害鳥獣捕獲報奨金増:5,812千円 ・有害獣回収運搬車購入:8,030千円
		有害獣侵入防止柵設置事業	1,705	郷市外17集落に対し、侵入防止柵設置に要する資材費を補助する。
		町単小規模土地改良事業	8,524	9月の台風豪雨により崩壊した農地法面、農業用排水路等の復旧工事を行う。
土木費	14,030	県営漁港改良事業	1,500	日向湖岸道路において、岸壁梯子(5)と照明灯(3)を設置する。
		住宅改修費助成事業	6,000	住宅耐震化の促進と地域経済の活性化のため、補助事業費を拡大する。
		町道維持補修工事費	5,862	台風豪雨等により町道や側溝等に堆積している土砂の除去等を行う。
		(社会資本整備総合交付金事業) 町道役場前線改良事業	2,656	道路工を10m延長する。

# 常任委員会の動き

総務文教  
常任委員会

2件託

◎平成23年度美浜町一般会計補正予算(第4号)

歳出

〈民生費〉

**問** 医療給付事業で人工透析をうけておられる人数と、それに至った原因及びその予防の啓発について聞きたい。

**答** 現在の人口透析患者は30名であり、全体で見ると透析患者の3分の1は糖尿病が原因である。今後も健診等により糖尿病などの予防、早期発見に努めたい。

〈衛生費〉

**問** 健康診査推進強化基金積立てについては、その主旨を周知徹底し、費用対効果が高がる様にして頂きたい。

**答** 2月、3月の広報で特集を組み、パンフレットを作成し実施したい。

〈農林水産業費〉

**問** 耳川にサケの遡上を確認されたと聞いているが、保護と増加を目的に管理をしているのか。

**答** 管理は河川組合に任せている。内容として稚魚の放流や、魚道の管理等の保護活動をしていると聞く。

**問** 有害獣の捕獲数は昨年と比較してどうか。また、増減状況はどうか。

**答** 4月～10月の累計でシカ536頭、イノシシ約150頭であり現状イノシシが昨年対比やや減少しているが、今後冬季の捕獲数が増える事から、

昨年とほぼ同数の捕獲を期待している。

**問** 建設中の有害獣焼却処理施設が活用されるまでに、住民から苦情を受けない回収方法のルールの必要がある。

**答** 今から決めていきたい。処理施設の説明会は1月26日の美浜町・若狭町議会振興協議会で説明の予定。

**問** 日向の漁港の照明の種類と町内外灯の今後の考え方は。

**答** 外灯はナトリウム灯で行う。各区内の防犯灯は蛍光灯である。今年度の設置からLED灯で行っている。従来通り設置費は町、使用料は各区負担である。

〈商工費〉

**問** 町観光協会等育成補助金についての使い方及び、使用予測、残った場合の処理等について。

**答** 対象の民宿、旅館に宿泊した場合発行し、当日の宿泊費を含めて町内のお土産の購入等に使える。2月末には使い切る予定であるが、残れば回収し精算する。

**問** 次回の事もあるので、実施後の検証をして議会に報告してほしい。

**答** 反省会と共に検証して報告する。

**問** 美浜町の観光協会ホームページの体をなしていない。更新して外部への宣伝を強化すべきである。

**答** 観光協会に伝える。

〈土木費〉

**問** 住宅改修費助成事業の内容について。

**答** 住宅の修繕や改修などに伴うリフォームに対する補助です。例としては、台所、風呂、トイレ、居間、水回りや屋根の修繕工事である。

**問** その中で下水のつなぎ込みも含まれているか。

**答** 下水道へのつなぎ込み工事費用についてもリフォーム助成の対象となる。

**問** 町道に関して、美浜駅から役場までをつなぐ道路の整備の計画は。

**答** 案としてはあるが、具体的な計画はない。

〈教育費〉

**問** 学校で購入した教材備品の内容は。

**答** 理科、数学の教材で具体的には実験用具、薬品庫等である。

**問** 学校給食センター委託費の総費用について、詳細説明をお願いする。

**答** 主に調理業務と配送業務に係る費用である。

歳入

〈全般〉

**問** 社会資本整備事業交付金の性格を教えてください。

**答** 公共的なインフラ整備の為に供される交付金で、申請の為の規約がある。

◎美浜町一般職の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について質疑は有りませんでした。

産業厚生  
常任委員会

8件託

◎平成23年度美浜町診療所事業特別会計補正予算(第1号)

**問** ジェネリック薬品について、町としてこの薬品に対する考え方は。患者に了解を求め投棄している。

**答** ジェネリック薬品は通常価格より2～4割安い、貼り薬ははがれにくいとか、内服薬なら味が違う等が言われている。国保では年明けよりジェネリック薬品を使用した場合の負担額を知らせる通知を県下で行う。国保運営の医療費軽減を図るためのひとつの方法である。

**問** インフルエンザの予防接種について、美浜町や各企業で接種に対する補助金制度を設けているが、診療所の医師が事業所に向くことは法的に可能かどうか。

**答** 現在事業所での接種は行っていない。法的に可能かどうか関係部署に確認する。

**問** 診療所看護師の異動が激しいようにみえるが、大病院と異なり患者とのコミュニケーションが必要な診療所



へしこちゃんも心配。美浜の観光のゆくえ

ではないかなものか。

**答** 高齢者支援センターでケアマネの産休に伴い、看護師がケアマネ資格を持っていたので異動してもらった。

**○平成23年度美浜町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)**

**問** 被保険者の最近の動態は、不況により国保加入はふえているのか。

**答** 国保は加入率27.15%で4人にひとり加入している。世帯数では43.02%。7、8年前は58%だったが、後期高齢者医療制度により加入者が減ってきた。

**問** 後期高齢者医療は国保ではないのか。社会保険のままか。

**答** 75歳以上は後期高齢者医療となり、福井県後期高齢者医療広域連合が保険者となる。所得に応じ本人から1割相当の保険料を徴収する。

**問** 個人負担以外は町費からの持ち出しはないのか。

**答** 5割相当の公費負担があり、その割合は国4、県1、市町1で負担。

**○平成23年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)**

**問** 新年度から介護保険負担金が変わるが、目安としてはどのくらい上がるのか。

**答** 今後のあり方の検討結果を受けて金額が算出される。美浜町は基金があるので、これを取り崩し、できるだけ安い保険料になるように検討したい。

**問** 地区別の高齢化率の格差により介護需要が異なると思うがその対応は。

**答** 個々の対象者に対してサービスを提供している。ただし、介護予防の対策面では、集落から協力をいただき

介護予防を兼ねた健康づくり講座などを行っている。

**問** 介護予防の取り組みについてお聞きしたい。

**答** 一次予防はそのまま元気で生活できるようにするためのものがある。「ふれあいサロン」では平成22年度には290回開催、集落行事への出向型としての健康づくり講座は、平成22年度14回開催、お達者セミナーは平成22年度は認知症をテーマとして58回開催した。また、二次予防対策は、介護状態に入る恐れのある方についての予防対策で、元気はつらつ教室を開催している。3ヶ月を1スパンとして運動や栄養面の指導なども行うもので、平成22年度では35回開催した。

**問** 介護予防に関する提案はないのか。

**答** 介護保険運営協議会の中でそういう問題についても、第五期介護保険事業計画に反映させたい。



ふれあいサロン

**○平成23年度美浜町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)**

**問** 東部の第1、第2の修繕費について、同じ水を使っているがその仕分け方法は。

**答** 当初第1と、第2で造ったものにわけている。

**問** 第1、第2の光熱費について、今回の増額要因は。

**答** 当初予算で平成21年実績を元にしたため、開きが出てきた。10月までの支払状況で、不足されると考えられるものを補正で計上した。

**問** 新庄の取水井戸カメラとは。

**答** 平成19年に井戸を掘削したが、鉄バケテリアと思われる赤水が出るのでカメラを挿入し調査する。

**○平成23年度美浜町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)**

**問** 現在のつなぎこみ状況はどれくらいか。

**答** 現在のところ78%である。

**問** 残り22%について、つなぎこみ出されない原因の調査はしているか。

**答** 浄化槽設置をしているところが多く、今後どう進めていくか現在も個別に相談している。

**問** 下水のつなぎこみが出来ないのは、経済的に難しく出来ないと言ふ所は無いか。あるのだったら将来どのように対処していくのか。

**答** 経済的である所は、割合は分からないが、今後について相談していきたい。

**○平成23年度美浜町上水道事業会計補正予算(第1号)**

**問** 水道使用料の減の原因はなんと考えているのか。

**答** 人口の減少や節水による減と考えられる。

**○美浜町健康診査推進強化基金条例の制定について**

**問** 健康診査推進ということでは住民サービスの一端であるが、滞納者に対する対応はどうするのか。

**答** 事業実施のための打ち合わせはまだ行っていない。インフルエンザ予防接種については調査した上で対応する。

**問** 個人負担金は、また受診状況は。

**答** 個人負担が500円、差額分が町の負担。目標受診率が50%で、現状は大腸がん検診36.6%。胃がんの場合、国のがん検診はバリウムによる透視しか算定されないで、その割合がいま20.5%。目標達成にはかなりの受診勧奨が必要だ。

**問** 電源立地地域対策交付金を積み上げるといふことで、今充てている他の事業が削られるのか。

**答** 他の事業が減るわけではない。政策としてこれを集中的に強化するため、今年度下期分を基金として積み立てる。

**○公立小浜病院組合規約の変更について**

質疑は有りませんでした。

# 質 問

12月定例会では5人の議員が一般質問に立ち、町行政の有り方について、いただきました。



竹仲 良廣 議員

**問** 町民の足の確保にデマンドタクシーを採用してはどうか

**答** デマンドタクシーを含めて公共交通システムを検討したい

(1) コミュニティバス運行を見直して、デマンドタクシーを導入してはどうか。  
現在運行している町内循環バスの利用状況は朝夕の通学・通勤の足として、レイクヒルズ病院への通院などには一定の評価を得ているが、その他の便は空席が目立ち、現状のコミュニティバスでは、町民のニーズや対応が困難な生活交通需要に対しうまく機能していないのではないかと。地域の実情に応じた柔軟な運行体制が求められている。利用者を自宅の玄関から目的地の入り口まで(ドアtoドア)の移動を提供でき基本的にはタクシーの便利さを

をバス並の料金で実現できるサービスとして『デマンドタクシー』という方法がある。これを導入してはどうか。



デマンドタクシー (イメージ)

**答** 民間路線バスの廃止に伴いコミュニティバスを導入しその後も改善を行ってきたが、多くの問題もあることも事実である。それぞれの運行システムには長所、短所があり、美浜町にはどのシステムが良いのか、どういった改良を加えれば良いのか、今回提案のデマンドタクシー交通システムを視野に入れながら前向きに検討したい。今後、広く積極的に美浜町における公共交通システムのあるべき姿を検討していく必要があると考える。

(2) 少子化対策として、結婚を仲介し縁結びが成立した時、仲介者に報奨を出す制度を創設してはどうか。また、若者が定住していただくための、住宅建設を促進してはどうか。  
近年、結婚していない若者が多くなっている。美浜町は今年、

单身男女の結婚を支援するため「ときめき出会いサポート事業」を創設し、出会い・交流の場の提供や結婚祝い金(3万円)を出すなどを行っているが、それに加えて单身男女を結婚と定住まで導いた「愛のキューピッド」に奨励金を支給する制度を創設してはどうか。

**答** 現在のように地域コミュニティや親子関係、あるいは結婚事情が大きく変化した状況下においては、個人レベルでの結婚仲介者による結婚斡旋は、なかなか困難な時代になってきており、限界もあると感じている。しかし、こういう中でも結婚を推進していくことは重要で必要なことと考えている。美浜町では婦人福祉協議会がこの活動を行なっているが、このネットワークをさらに強化させるとともに、今後も仲介人報奨金を含む有効な方策について現状を見ながら検討を続けていく。

**問** 美浜町には多くの公営住宅があるが、殆どが既婚家族に限っており、所得による入居制限がある。18歳〜40歳未満の子育て世帯、若者層を対象とするアパートを建設してはどうか。利用者である若者は、安価な家賃で利用することができ、そのアパートには若者が多く集まるといふことで利用

者同士が結婚することも考えられ流入人口の増加にもつながるのではないかと。  
**答** 若者が住める住環境を町内に造っていくという方向には賛成である。今後、若い人が住める対策を取っていく必要があり、例えば民間アパートなどの家賃の支援や民間で賃貸マンションを建設する場合の支援など、広く住環境を良くしていくための対策を担当課に命じており、できるだけ早期に具体化を示す。

**問** 健全な財政確保を。定検停止の美浜町財政への影響は

**答** 当面は困らないが、慎重に対策を取っていく



浜野 健治 議員

質問、返答については質問者の文責で掲載しております。



生涯学習センター完成図

**問** 生涯学習センターの建設への影響は有りませんか。

**答** 生涯学習センターは敦賀3、4号機の電源立地地域対策交付金で22・23年度分は計画通り進捗している。24年度分は不透明であるが、他の財源活用で予定通り24年9月の供用開始を目指している。

**問** エネルギー環境教育体験施設建設計画への影響は有りませんか。

**答** 施設は高速増殖炉サイクル技術研究開発推進交付金15億の内容で、22年度に9億円の基金積み立てを行いました。現在目的に沿った施設とするため、幅広くアンケートを取り集

計しています。福島原発事故により一部再調査中です。24年度以降、遅れが予測されますが建設計画は進めております。残り6億円については政府の方針が固まらないとつきりはしていません。

**問** 交付金をベースとした公共施設等維持運営事業への影響は有りませんか。

**答** 学校、体育館、福祉センター等の公共施設の維持管理費用だが、影響ないと考えている。25年度より交付金減少の可能性が考えられるので、基金の積み立て、歳出の削減で対応したい。

**問** 中長期財源である電源3法交付金、地方税の推移をどう見ているか。

**答** 国のエネルギー政策が決まるまで、長期的な推定は困難である。短中期的には法人税の減少が見込まれるが固定資産税は防災対策、送電線強化等の償却資産増で減少はしないと考えている。

**問** 減少が現実になった時の財政をどう確保するのか。

**答** 補助財源の確保、行政改革の前倒し、歳出削減等を考えている。

**問** 今後、電力会社との共存、協力体制をどう確保していくのか。

**答** エネルギー研究開発拠点化計画の中で、新エネルギーの研究成果を実証する場として積極的に取り組むつもりである。

**問** 再稼働までの期間が長引いた場合の雇用を確保する必要があるが。

**答** 現在、3基とも停止した状態で深刻に受け止めている。防潮堤設置や、耐震裕度向上等の工事があるが、2号機の定検の終了する5月以降の受注が減少する。経済的な痛みも伴うので、再稼働への工程のスピードアップの要請をして行く。

**問** 冬季の節電協力をどのように町民に浸透していくのか。

**答** 公共施設への節電指示と町民へは広報等で啓蒙していく

**住民環境課長** 役場内でも設定温度、使用時間の規制と電灯の間引き、ノー残業日の設定等で協力していく。



兵庫 賢一 議員

**問** 発電所の状況及び高速道開通後の経済状況に不安がある。対処方法は

**答** 発電所は当面防災対策を進めてもらう。高速道開通後の観光は連携して進める

**問** 原子力発電所の運転状況がこのまま続けば、来年度には出入りしている業者への影響は避けられず、

商工業者の方達に不安が出て来ている。更に舞鶴若狭自動車道が全線開通すると、美浜町は通過地点になってしまい、観光客の減少等経済が落ち込むのではとの不安要因になっている。町民は美浜の経済が危機に直面するのではと感じている。如何お考えか。

**答** 原子力発電所を推進してきたが、安定した地域振興策だった。今後も地震・津波対策などの工事が出

# 質 問

12月定例会では5人の議員が一般質問に立ち、町行政の有り方について、伺いました。

ているし、多くの投資効果が期待される。舞鶴若狭自動車道の全線開通は、観光振興の重要な柱になる。敦賀・美浜・若狭の連携を深める為にも、観光推進会議を立ち上げ団体バスの誘致事業を実施している。県も嶺南の自治体と連携しながら、ハイウェイ観光プロジェクトと銘打って取組を始めている。町独自では『サクラサク』の映画化に取組み、応援隊を結成する等の活動を始めた。

## 問

国の諸政策・経済情勢に光が見えない。企業誘致にも限界があり、自助努力で『まちづくり』に本腰を入れる必要がある。これまでの諸施策を検証すると共に、関係者の創意工夫、行政が率先垂範努力し地産地消・6次産業の取組等あらゆる手立てを駆使して取組む必要がある。

## 答

町では27年度を目標とする総合振興計画を進めている。『元氣と賑わいのあるまち』を掲げ、実現のためには人と技術・組織の連携を図ることが重要で、高い産業振興を進め、本町が持つ固有の地域資源を活用しながら、人々が活発に交流するまちづくりを目指している。農林水産業・観光の振興・企業誘致を公約に掲げ、企業誘致には地道に取組んでいく。交流人口が活発

化することで賑わいが出てくる考え、国・県・事業者との連携を図りつつ情報収集に努め観光の振興・企業誘致に努めたい。農林水産業については、様々な産業間の連携を促進し、新たな商品・サービス・販路・地域ブランド等を創出し、独自産業化に積極的に取組める体制作りをサポートして行く。

## 問

レインボーラインの無料化について、その後どうなっているか。視察をしたが、無料化で観光客が増えたというケースは殆んど無く、むしろ逆効果になっている事が多い。有料を維持し付加価値の高い活用を考える必要がある。今日的状況を考慮し、両町



レインボーライン料金所

で協議し早急にベストな戦略を立てるべきである。

## 答

美浜・若狭両町の宝である。無料化になった道路を、県の関係者も含め両町で視察し検討をしたが、その後の管理が充分でなく、観光でマインスの面が出てきている。無料化し県の管理になった場合、普通の道路以上の関与は難しい。両町の町道になったら、さらに困難である。34年度まで有料道路は維持し、検討を続けていく事を県とも確認した。26年舞若自動車道の開通後の利用客増加を目指し取組を強めている。



宮下 紀興 議員

問 小学校再編についてアンケート等実施したが結果は

答 学校環境教育調査委員会でのまとめと提言を待って進めたい



美浜北小学校

## 問

近年我が町においても少子化による小学校の再編問題が浮上ってきております。平成6年には923人の児童がいましたが現在平成23年には496人と約半数近くになっております。更には4年後の平成27年には440人と推計されております。このままでは教育環境に大きな影響が起るとの事から保育園児の保護者そして無作為に抽出した該当校区の住民の方々にアンケート調査をなされた所だと思えます。その結果等について伺いたい。



# 各種委員会報告

## 議会活性化特別委員会

議会活性化委員会は毎回活発な議論を繰り広げている。議員全員で共通の課題について討議をしていて、時には激しいやりとりが見られます。10月21日からは予算、決算特別委員会の設置をテーマに討議をしています。予算の有効活

用の審査、決算の妥当性と成果の検証に議会としての責任を果たして行くのです。11月18日、委員会を開催し、予算、決算の委員会を特別委員会にするか、常任委員会にするか、また我々の議論を検証して頂く為に12月7日福井県町村議会議長会総括参事の伊藤氏からお話を伺いました。今後、議



本会議場、委員会室の年末掃除をする議員

後、議

活性化特別委員会の1年間の討議のまとめを実施して、すぐに出来るものと継続審議する課題に分けて進めていく事を確認しました。その中の一貫として、3月議会からの一般質問を「一問一答方式」にする予定です。(浜野記)

## 議会運営委員会視察研修

議会運営委員会では11月14日に永平寺町議会の視察研修を行いました。視察研修目的は、予算・決算特別委員会の運営についてと議会改革の取り組みの実態を研修するためです。永平寺町

議会は県内でも議会改革が最も進んでいる町として選定させていただきました。内容は①予算・決算特別委員会の運営について、②予算・決算特別委員設置後の成果について、③町民に向けた議会報告会のやり方についてでした。

議会の活性化・改革は議長を中心に大変進んでいて、本会議も委員会も町民視線で全てライブ放映されています。また委員会のスケジュール等、議員間の連絡網も整備されていて、テーマの共有化等整っていました。今後議

会運営上の参考にしていきたいと考えます。(山口記)

## 原子力発電所特別委員会

10月以降の原子力特別委員会は2回、開催されました。11月25日は関西電力㈱を招聘し、美浜発電所の現況について説明を受けました。当時は1号機、3号機は定期検査を終え、国及び県の再稼働の認可を受ける段階であるとの事でした。委員から、地震及び津波対策の進捗状況について質問が出ましたが、実施済対策、今後の対策について説明があり、安全確保に最大の努力を払うとの事でした。

12月22日は、内容から全員協議会の形で委員会を開催し、原子力安全保安院及び関西電力㈱を招聘し、それぞれ課題の経過報告を受けました。まず、原子力安全保安院から、福島第一発電所の事故を受け、福井県の原子力発電所に対するストレステストの進め方、地震対策の過去の地震の調査及び活断層の再調査、原子力防災指針の見直し、原子力安全規制に関する組織の見直しについての説明がありました。次に関西電力㈱美浜発電所から美浜2号機の原子炉手動停止と定検開始について、発電所全体の安全性向上対策について、美浜3号機のストレステスト

(二次評価)結果について、天正地震に関するボーリング調査結果について説明を受けました。内容は一般紙等で報道された通りです。(樋下記)

## 全員協議会

美浜町給食センターの民間委託について、町の検討委員会から答申を受けて、平成24年4月から実施予定の「美浜町給食センター学校給食調理・配送業務等民間委託について」理事者から説明を求めました。

1. 委託費の限度額

2. 委託する業務

①給食調理業務

②食器具及び調理器具等の洗浄・

消毒・保管

③食品の管理、施設整備の清掃・

点検、安全衛生管理

④給食配送及び食器等の回収

⑤上記に付帯するその他必要な業務

3. 契約期間：平成24年度

4. 業者選定方法：プロポーザル方式の随意契約

その他：経費の内訳や業者選定基準、職員配置基準等の説明がありました。(前田記)



杉田玄白記念公立小浜病院

## 公立小浜病院組合議会

杉田玄白記念公立小浜病院は高度医療施設整備事業として病院全体の改築が3回に分けて進められ、その第3期工事が平成19年に始まり今年8月には全ての施設が完成をし、嶺南の中核病院として大きく生まれ変わります。その間、救命救急センターの開設やPET・CTなどの画像診断機器の充実が図られてきました。今後、舞鶴若狭自動車道の完成で移動時間の短縮が図られることにより美浜町の皆様にもご利用の機会が増えるものと期待をします。美浜町は小浜市、おおい町、若狭町と共に資金を出資して病院を運営しています。町民皆様のご利用をよろしく願います。(竹仲記)

## 敦賀美方消防組合議会

平成23年第4回敦賀美方消防組合の定例議会が年末の12月27日消防本部で開催されました。議案はつぎの3議案でした。

- ①平成23年度敦賀美方消防組合一般会計補正予算
  - ②敦賀美方消防組合職員の給与に関する条例等の改正の件
  - ③平成22年度敦賀美方消防組合一般会計歳入歳出決算認定の件
- 議員による慎重審議の結果、いずれも提案通り承認されました。(兵庫記)

## 美浜・三方環境衛生組合

12月7日、美浜町本会議室で美浜・三方環境衛生組合議会の定例会が開かれました。まず管理者から平成22年度の施設の運営状況の報告があり、各施設が有効かつ効率的に運用されている事が知らされました。次に本議会提案議案の「平成22年度美浜・三方環境衛生組合一般会計歳入歳出決算の認定」について概要説明があり、更に本会議で各項目について事務局から詳細説明がありました。施設内容の説明は次に分類されています。

### ①美方し尿処理施設

### ②ガス溶融施設

### ③リサイクルプラザ

### ④堆肥化施設

### ⑤最終処分場

提案議案は全員賛成で認定されました。続いて議員より一般質問があり、委託費用の検証を十分実施し、健全な運営を継続するようにとの意見に事務局が真摯に答えていました。(浜野記)

## 有害鳥獣対策特別委員会

有害鳥獣対策特別委員会は計画した対策を検証しながら進めています。

- ①普及啓蒙対策…各集落に有害鳥獣対策集落推進リーダーを任命、有害鳥獣の被害状況、追い払い隊の設置等の啓蒙活動を推進。
- ②町内有害鳥獣捕獲体制の確立…猟友会員を主体とする捕獲隊の活動及び、一般有志に捕獲免許を取得して頂き、各所にハコ罠とククリ罠を設置、捕獲に対する報奨金制度を確立。
- ③国、県の補助金による恒久柵の設置推進…22年度は新庄区を実施、23年度は気山、大藪、佐柿、坂尻、太田、山上を計画推進中。
- ④若狭町海士坂に嶺南地域有害鳥獣処理施設を24年4月供用予定で建設中。

(浜野記)

## 市町議会議員合同研修

11月2日福井県自治会館にて「市町議会議員合同研修会」が開催されました。元衆議院議員、元三重県知事で現在早稲田大学大学院公共経営研究科教授の北川正恭を講師として講演されました。「地方議会改革の現状と求められる議会のあり方」と題して、県議会議員、衆議院議員、県知事、大学教授を歴任され経験に裏打ちされた視点からお話いただきました。「地方議会としてどうあるべきか」「地方議会としてどうあるべきか」そして現在の日本に求められることは、明治維新以降130年間続いた中央集権の国家体制を地方分権に改革することとして、議会改革が必要であると示唆されました。美浜町としても今後、活性化の取り組みとしてより充実した中身の濃い議会運営・活動を推進していく所存でございます。(松坂記)



講師の北川正恭氏

議会の動き

10月9日	各地区運動会
16日	第23回町民レガッタ
21日	戦没者追悼式・議会活性化特別委員会
22日	若狭地方町村議会議員交歓球技大会
26日	関西電力立地協議会(おおい町)
29日	関西電子ビーム竣工式
11月2日	市町議会議員研修会(福井市)
3日	町政功労表彰
7日	関西電力原子力発電所立地町議会連絡協議会視察(舞鶴)
14日	議会運営委員会視察研修(永平寺町)
18日	嶺南広域行政組合議会・議会活性化特別委員会
24日	福井県原電所在地議会特別委員会連絡協議会要望活動(東京)
25日	全員協議会・原子力発電所特別委員会
30日	生涯学習センター建設委員会
12月6日	美浜二方環境衛生組合議会・議会運営委員会
7日	町長との意見交換会・議会活性化特別委員会
13日	第7回町議会定例会開会(本会議・全員協議会)
14日	全員協議会
15日	一般質問
16日	総務文教常任委員会
19日	産業厚生常任委員会
20日	現地視察(せせらぎ保育園)へ全員協議会
22日	本会議(第3日)・全員協議会・議会広報特別委員会
26日	公立小浜病院組合議会
27日	嶺南広域行政組合議会・敦賀美方消防組合議会

「美浜町議会チーム」  
グランドゴルフで初制覇!



10月25日、当町松原のゆうあい広場において、本年度若狭地方町村議会議員交歓球技(グランドゴルフ)大会が開催され、当日は嶺南四町の議員と嶺南振興局を交えた80余名の選手が参加、日頃のウツパン・ストレス等をおがステイックに託し、白熱したプレーが展開された。

結果は、ここ数年低迷していたわが「美浜町議会チーム」が地元開催で発奮?全員一丸となってスコアを伸ばし、団体で初優勝を成し遂げた。個人の部でも崎元議員が二位に入り健闘した。成績結果は次のとおり。



団体の部・優勝 美浜町議会チーム  
次勝 高浜町議会チーム  
敢闘賞 おおい町議会チーム  
若狭町議会チーム  
嶺南振興局チーム



現地視察 せせらぎ保育園

議会開会中の12月20日、議会の現地視察が行われました。視察先は建設がほぼ完了した「せせらぎ保育園」です。平成23年3月〜平成24年2月までの工期で中央公民館跡(現在のせせらぎ幼稚園の隣)に建設されています。

概要は次の通りです。



構 造…木造平屋建て瓦葺き  
敷地面積… 5,797.65㎡  
建設面積… 1,231.00㎡  
総工費…634,384千円(中央公民館解体費用を含む)

視察した結果は、あおなみ保育園同様、明るく快適な作りです。床暖房されたフロアリング、大きな遊戯室、保育室、園児に合わせたトイレ等、快適な保育環境だと感じました。園庭及び外構工事は2月末まで残っていますが、園内は1月から供用されます。

編集後記



12月定例会の始まりは春を思わせるようなボカボカ陽気でしたが、後半に入り一転冬景色になり雪もちらつくようになりました。補正予算のなかで町民の健康診査推進強化の補正予算が盛り込まれ、低廉な負担で受診していただき町民皆健康を目指す予定です。議員も健康に気をつけて、これからの寒さに耐えしっかりと議会活動に取り組めます。

美浜町議会広報特別委員会  
【委員長】樋下 伸嗣 【副委員長】山口 和治  
【委員】松坂 隆司・浜野 健治・藤本 悟・兵庫 賢一